

請願第 20号

令和2年12月14日

川崎市議会議長 山崎直史様

幸区在住者

ほか 11,579名

子どもたちが安心して学べる少人数学級を求める請願

請願の趣旨

コロナの感染拡大が懸念される今、子どもたちの命と健康を守るための教育条件の整備が急がれます。感染防止対策としては、教室の「密」を避けるために学級の人数を縮小し、少人数学級にすることが不可欠です。

文部科学省は、教室に社会的距離を確保するには、20人程度で授業をすることが必要であるという指針を発表しています。ところが、川崎市では小学生3年から6年の29%、中学生の73%が、36人以上の「過密」の学級で学んでいます。子どもたちが一番長い時間を過ごす教室が「密」な状態は、一刻も早く解消しなければなりません。

川崎市として、国に要望すると同時に、川崎市独自でも「過密」な学級を無くし、子どもたちを守りましょう。

請願事項

- 1 国に対し、少人数学級を進めるよう、意見書を提出するなど要望すること。
- 2 川崎市は一刻も早く、小学校3年から中学校3年まで、35人以下学級にすること。

紹介議員

宗 田 裕 之